

Japanese Culture

Japanese Culture 2

(留(留))

Yasuko OISHI · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

2 units 後期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本事情』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本事情』)

Target) 徳島大学で学び、徳島に住むことを選んだ留学生に対して「徳島」を深く知ること、さらに自分にとっての「徳島」をつかむことを第一の目的とする。徳島の象徴の一つであり、心の故郷といわれている「吉野川」をいろいろな側面から学ぶ。総合的な日本語の習得も目指す。

Outline) 徳島在住の様々な分野の方から「吉野川」に関する講義を聞く。事前にことばや表現の学習を終えて、講義を聴き、どのぐらい話の内容が理解できかを確認する。また吉野川について各自でテーマを探し、調査発表をする。今年度は、1 吉野川概要 2 吉野川流域の農業 3 吉野川流域の生活 4 第十堰問題について等様々な分野の講義を考えている。

Keyword) 吉野川, 徳島を知る

Goal)

1. 「吉野川」に対する知識を持ち、徳島や徳島の人を知る
2. 徳島を知ると同時に、自分の国、故郷についてもう一度考えてみる
3. 様々な人の講義を聞き、準備と振り返りの活動を通し、授業の形式を理解すると共に受身でない係わり方を体得する。

Schedule)

1. 授業の目的説明 自己紹介 受講者のレディネス (これまでの学習等) 調査
2. 講義①準備 (資料による地名・ことば・表現の確認, 質問作成)
3. 講義を聴く①
4. 講義を振り返る (内容の確認, 意見・感想の交換), 講義②準備 (資料による地名・ことば・表現の確認, 質問作成)
5. 講義を聴く②
6. 講義②を振り返る (内容の確認, 意見・感想の交換), 講義③準備 (資料による地名・ことば・表現の確認, 質問作成)
7. 講義を聴く③
8. 講義③を振り返る (内容の確認, 意見・感想の交換), 自分の発表テーマについての準備①
9. 講義④を聴く
10. 講義④を振り返る (内容の確認, 意見・感想の交換), 自分の発表テーマについての準備②

11. 地域の人々への聞き取り調査, ディスカッション
12. 今までの振り返りや聞き取りの整理, 自分の発表テーマについての準備③
13. 発表準備
14. 発表 (地域の人々, 学生サポーターが参加)
15. 発表した録画を使っての評価 (相互評価, 試験)
16. 総括授業 (講義を振り返って)

Textbook) 随時プリント等の資料を配布する。

Evaluation Criteria) 出席 50%, 講義ごとのまとめ 20%, 最終発表 30%を総合的に評価する。

Re-evaluation) 無

Message) 最終的に自分のテーマを決めて、調査・研究・発表という流れを体験します。従って積極的な授業への取り組みを期待します。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221115>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp)

⇒ 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば、他の曜日・時間でも対応します。